

学校関係者評価委員会

2024 年度第 2 回委員会 議事録

日時および場所

日時：2025 年 2 月 13 日(木) 18 時 00 分～20 時 00 分

場所：修成建設専門学校 146 教室

記録：事務局長 塩田久及

委員一覧

別紙(配布資料 1-2)のとおり

配布資料

資料 1-1：2024 年度第 2 回委員会 議事次第

資料 1-2：委員一覧

資料 1-3：2024 年度学校関係者評価委員会報告書(案)

議事次第

1. 開会挨拶（見邨）

・委員長挨拶（藤田）

時代に即した教育を実施している。今後も優秀な学生を一人でも多く社会に輩出していただきたい。

・理事長挨拶（山下）

全国的に学校は転換期にある。とりわけ私学においては顕著である。学校運営を続けていくにあたり、様々ご意見いただきたい。

2. 議事内容説明（見邨）

a. 2023 年度学校関係者評価委員会報告書(案)について

3. 議案

a. 2023 年度学校関係者評価委員会報告書(案)の審議（藤田）

本件報告書草案は特に委員の異議がないため、報告書として採用する。

b. その他

①学校の現状報告

- ・定期試験が終了し、進級・卒業の準備を進めている。

②卒業生意見交換会 報告（見邨）

2024 年 12 月に実施した卒業生意見交換会の報告を行った。

卒業生から提出された意見は次のとおりであった。

- ・卒業設計で取り組んだ内容が就職後
- ・資格取得、とりわけ玉掛けは現場で役に立った
- ・測量実習における器具の据付け作業
- ・第 2 本科での学びが楽しく、夜間の授業においても楽しく取り組むことができた
- ・真面目に授業を受けておけばよかった。しかし学んだデジタル技術は仕事の上でも役立っているなので、デジタル技術は新しいものを取り入れていってほしい。
- ・インターンシップは進路を決定する上で非常に役に立った。

またインターンシップ先では、年齢が異なる人とのコミュニケーションの取り方について学ぶ機会になった。

③2024 年度 学校トピック（鍵谷・野瀬）

各学科の特徴について説明を行った

- ・安藤忠雄建築展への参加
- ・土木・造園系学科の施工管理技術検定の受験状況
- ・イズミヤ福町店 緑化・植栽の提案及び実施設計・施工
- ・「0 円庭園」への取り組み
- ・産官学連携・サマースクール in 高島の取り組み

各委員からの意見

- ・携わる教職員は大変だと思うが、学生時代にこのような行事に取り組めた学生は思い出に残る上に、就職後も役に立つのではないかと思う。様々な経験ができることは財産である。（藤田）
- ・（サマースクールにおいて）一緒に参加したが、学生は非常に喜んでいたと思う。今回は高島市であったが、他の地方公共団体とも連携を進めていければ良いと思う。（相賀）

④修成教育研究所について（見邨）

⑤合同企業説明会 2025 について（見邨）

⑥卒業展 2025 について（見邨）

⑦卒業展 作品見学（見邨）